



2021年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 グリー株式会社
 コード番号 3632 URL <http://corp.gree.net/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員最高財務責任者 (氏名) 大矢 俊樹 TEL 03-5770-9500

定時株主総会開催予定日 2021年9月28日 配当支払開始予定日 2021年9月6日

有価証券報告書提出予定日 2021年9月29日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	56,766	△9.4	5,378	70.1	11,098	163.0	13,533	399.5
2020年6月期	62,665	△11.7	3,162	△42.3	4,219	△26.3	2,709	△22.3

(注) 包括利益 2021年6月期 17,960百万円 (201.7%) 2020年6月期 5,953百万円 (79.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	61.44	61.21	11.6	8.3	9.5
2020年6月期	11.79	11.75	2.4	3.4	5.0

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 -百万円 2020年6月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	141,389	120,212	84.6	567.43
2020年6月期	126,492	113,406	89.3	496.30

(参考) 自己資本 2021年6月期 119,671百万円 2020年6月期 112,899百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	1,770	9,293	△4,013	94,824
2020年6月期	2,032	4,204	△3,751	87,018

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00	2,274	84.8	2.1
2021年6月期	—	0.00	—	12.50	12.50	2,636	20.3	2.4
2022年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 配当金総額には、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式への配当金（2020年6月期70百万円、2021年6月期82百万円）を含めておりません。

2. 2022年6月期の配当金につきましては、現在未定です。

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名） STRIVE株式会社、 除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期	242,249,700株	2020年6月期	242,249,700株
② 期末自己株式数	2021年6月期	31,347,425株	2020年6月期	14,768,789株
③ 期中平均株式数	2021年6月期	220,272,349株	2020年6月期	229,902,208株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式（2021年6月期：6,621,397株、2020年6月期：7,013,561株）を含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年6月期の個別業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	17,997	△54.3	3,631	△22.4	8,810	108.1	12,115	289.9
2020年6月期	39,371	△13.8	4,680	△30.3	4,233	△23.3	3,107	656.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期	55.00	54.79
2020年6月期	13.52	13.47

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	135,373	116,703	85.8	551.02
2020年6月期	122,251	111,781	91.1	489.33

(参考) 自己資本 2021年6月期 116,211百万円 2020年6月期 111,314百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

我が国における個人のスマートフォン保有率は前年比1.7ポイント増の69.3%（出典：総務省「令和2年通信利用動向調査の結果」）と伸びるとともに、2020年の国内ゲームアプリの市場規模も前年比8.4%増の1兆3,164億円（出典：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通ゲーム白書 2021」）と成長しております。しかしながら、国内外経済は新型コロナウイルス感染拡大により急速に悪化し、経済活動停滞の長期化も懸念され、予断を許さない状況となっております。

このような環境のもと、当社グループはゲーム、ライブエンターテインメント、広告・メディアの各領域で投資を行ってまいりました。主力とするゲーム領域においては、引き続きブラウザゲームのコイン消費は減少しておりますが、既存のスマートフォン向けアプリゲーム（以下、「アプリゲーム」）の長期運営体制による収益安定化及び海外展開による収益力向上に取り組むと同時に、新規アプリゲームの開発を進めてまいりました。ライブエンターテインメント領域においては、バーチャルライブ配信アプリ「REALITY」の機能強化やコンテンツ拡充を進め、また、広告・メディア領域においては、メディア力の強化とユーザー基盤の拡大を進めてまいりました。なお、当社グループにおける新型コロナウイルスの影響につきましては、広告・メディア領域において一部のメディアで影響を受けましたが、ゲーム領域及びライブエンターテインメント領域への影響は限定的でした。

なお、当連結会計年度において、当社出資ファンドが保有株式を売却したことによる投資事業組合運用益5,483百万円を計上し、また繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等が減少致しました。

以上の取り組みにより、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高56,766百万円（前連結会計年度比9.4%減）、営業利益5,378百万円（同70.1%増）、経常利益11,098百万円（同163.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益13,533百万円（同399.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は141,389百万円（前連結会計年度末比14,897百万円増）となりました。

流動資産は109,068百万円（前連結会計年度末比10,092百万円増）となりました。主な増加要因は、「現金及び預金」及び「その他」がそれぞれ7,805百万円、2,037百万円増加したことによるものであります。

固定資産は32,321百万円（前連結会計年度末比4,805百万円増）となりました。主な増加要因は、「投資有価証券」が6,303百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は21,176百万円（前連結会計年度末比8,091百万円増）となりました。

流動負債は11,626百万円（前連結会計年度末比450百万円減）となりました。主な減少要因は、「未払金」が525百万円減少したことによるものであります。

固定負債は9,549百万円（前連結会計年度末比8,542百万円増）となりました。主な増加要因としては「社債」が8,000百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は120,212百万円（前連結会計年度末比6,806百万円増）となりました。主な増加要因は、「利益剰余金」及び「その他有価証券評価差額金」がそれぞれ11,590百万円、4,430百万円増加した一方、「自己株式」が9,251百万円増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当連結会計年度末は84.6%であります。また、支払い能力を示す流動比率は当連結会計年度末は938.1%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ7,805百万円増加し、当連結会計年度末の残高は94,824百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、1,770百万円（前連結会計年度比12.9%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益13,398百万円があった一方、投資事業組合運用益5,483百万円及び投資有価証券売却益2,880百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、9,293百万円（前連結会計年度比121.1%増）となりました。これは主に、投資事業組合からの分配による収入7,398百万円、投資有価証券の売却による収入4,264百万円があった一方、投資有価証券の取得による支出2,472百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、4,013百万円（前連結会計年度比7.0%増）となりました。これは主に、社債の発行による収入7,958百万円があった一方、自己株式の取得による支出9,651百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、引き続きモバイルを中心にインターネットを通じコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大、及び収益基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

アプリゲームは更なる事業の拡大を果たすべく、既存アプリゲームの継続的な強化を図りつつ、新規アプリゲームのリリースに向け開発を進めてまいります。海外展開につきましては、引き続き日本国内で実績のあるタイトルの海外配信を拡大するとともに、新規タイトルの速やかな海外配信にも取り組んでまいります。

ブラウザゲームは、高い利益率を維持しながら継続的な利益創出ができるように取り組んでまいります。

メタバース領域（ライブエンターテインメント領域から改称）ではバーチャルライブ配信アプリ「REALITY」を中心とした規模拡大、広告・メディア領域ではパーティカルメディア群の更なる成長に向けて取り組んでまいります。

また、投資・インキュベーション事業としてインターネット・IT領域を中心に投資するベンチャーキャピタルやスタートアップへの投資に取り組んでまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識しており、事業の効率化及び拡大に必要な内部留保の充実を勘案しながら、その時々当社グループの経営成績及び財政状態並びにそれらの見通しに応じた適切な利益還元策を実施することを基本方針としております。

配当につきましては、DOE（純資産配当率）2%程度を確保しつつ、連結配当性向20%程度以上を目処として安定的かつ継続的に実施してまいります。

この方針のもと、当期につきましては、1株につき12.5円の普通配当の実施を予定しております。

来期以降につきましては、現時点では未定であります。基本方針に従いながら株主の皆様に対する適切な利益還元策を都度検討してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、国際会計基準の適用について適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	87,018	94,824
受取手形及び売掛金	7,157	6,997
未収入金	1,981	2,260
その他	2,961	4,999
貸倒引当金	△143	△12
流動資産合計	98,976	109,068
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,582	805
工具、器具及び備品	414	309
有形固定資産合計	1,996	1,114
無形固定資産		
のれん	164	82
その他	116	25
無形固定資産合計	280	107
投資その他の資産		
投資有価証券	21,070	27,373
繰延税金資産	386	278
その他	3,996	3,679
貸倒引当金	△215	△232
投資その他の資産合計	25,238	31,098
固定資産合計	27,515	32,321
資産合計	126,492	141,389
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	1,005	914
賞与引当金	680	795
拠点再編費用引当金	256	176
未払金	7,125	6,599
その他	3,008	3,140
流動負債合計	12,077	11,626
固定負債		
社債	—	8,000
その他	1,007	1,549
固定負債合計	1,007	9,549
負債合計	13,085	21,176

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,367	100
資本剰余金	2,365	4,637
利益剰余金	114,084	125,674
自己株式	△9,162	△18,414
株主資本合計	109,654	111,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,243	7,674
為替換算調整勘定	0	—
その他の包括利益累計額合計	3,244	7,674
新株予約権	466	492
非支配株主持分	40	48
純資産合計	113,406	120,212
負債純資産合計	126,492	141,389

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	62,665	56,766
売上原価	28,602	25,217
売上総利益	34,062	31,548
販売費及び一般管理費	30,900	26,170
営業利益	3,162	5,378
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	79	35
為替差益	39	203
投資事業組合運用益	900	5,483
その他	39	90
営業外収益合計	1,059	5,817
営業外費用		
支払利息	0	31
支払手数料	1	65
その他	0	0
営業外費用合計	2	96
経常利益	4,219	11,098
特別利益		
投資有価証券売却益	2,778	2,880
その他	89	20
特別利益合計	2,867	2,901
特別損失		
固定資産除却損	46	66
減損損失	290	13
投資有価証券評価損	377	68
拠点再編費用引当金繰入額	256	186
違約金	—	230
その他	84	35
特別損失合計	1,056	601
税金等調整前当期純利益	6,031	13,398
法人税、住民税及び事業税	1,016	1,734
法人税等調整額	2,306	△1,866
法人税等合計	3,322	△132
当期純利益	2,708	13,530
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△1	△3
親会社株主に帰属する当期純利益	2,709	13,533

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	2,708	13,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,165	4,156
為替換算調整勘定	52	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	26	273
その他の包括利益合計	3,244	4,429
包括利益	5,953	17,960
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,954	17,963
非支配株主に係る包括利益	△1	△3

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,362	2,360	113,730	△8,296	110,156
当期変動額					
新株の発行	5	5			10
剰余金の配当			△2,302		△2,302
親会社株主に帰属する当期純利益			2,709		2,709
自己株式の取得				△1,390	△1,390
自己株式の処分		△53		523	470
自己株式処分差損の振替		53	△53		—
減資					—
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5	5	353	△866	△502
当期末残高	2,367	2,365	114,084	△9,162	109,654

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	51	△51	0	456	55	110,669
当期変動額						
新株の発行						10
剰余金の配当						△2,302
親会社株主に帰属する当期純利益						2,709
自己株式の取得						△1,390
自己株式の処分						470
自己株式処分差損の振替						—
減資						—
連結範囲の変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,192	52	3,244	10	△15	3,239
当期変動額合計	3,192	52	3,244	10	△15	2,737
当期末残高	3,243	0	3,244	466	40	113,406

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,367	2,365	114,084	△9,162	109,654
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△2,274		△2,274
親会社株主に帰属する当期純利益			13,533		13,533
自己株式の取得				△9,651	△9,651
自己株式の処分		4		400	405
自己株式処分差損の振替					—
減資	△2,267	2,267			—
連結範囲の変動			331		331
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△2,267	2,272	11,590	△9,251	2,343
当期末残高	100	4,637	125,674	△18,414	111,997

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	3,243	0	3,244	466	40	113,406
当期変動額						
新株の発行						—
剰余金の配当						△2,274
親会社株主に帰属する当期純利益						13,533
自己株式の取得						△9,651
自己株式の処分						405
自己株式処分差損の振替						—
減資						—
連結範囲の変動						331
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,430	△0	4,429	25	7	4,462
当期変動額合計	4,430	△0	4,429	25	7	6,806
当期末残高	7,674	—	7,674	492	48	120,212

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,031	13,398
減価償却費	634	734
減損損失	290	13
のれん償却額	82	82
受取利息及び受取配当金	△80	△39
投資事業組合運用損益 (△は益)	△900	△5,483
支払利息	0	31
為替差損益 (△は益)	△68	△204
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,778	△2,880
投資有価証券評価損益 (△は益)	377	68
違約金	—	230
売上債権の増減額 (△は増加)	△2	△14
未収入金の増減額 (△は増加)	△777	△182
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	137	△115
預け金の増減額 (△は増加)	△1,166	△2,007
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△279	256
未払金の増減額 (△は減少)	596	△8
前受金の増減額 (△は減少)	△64	2
拠点再編費用引当金の増減額 (△は減少)	256	△80
その他	△38	△188
小計	2,251	3,614
利息及び配当金の受取額	80	89
利息の支払額	△0	△25
違約金の支払額	—	△230
法人税等の支払額	△298	△1,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,032	1,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△300	△50
投資有価証券の取得による支出	△2,186	△2,472
投資有価証券の売却による収入	4,311	4,264
関係会社株式の売却による収入	—	130
投資事業組合からの分配による収入	2,354	7,398
敷金の差入による支出	△287	△434
敷金の回収による収入	417	559
その他	△106	△102
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,204	9,293
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	7,958
自己株式の取得による支出	△1,390	△9,651
配当金の支払額	△2,302	△2,276
その他	△58	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,751	△4,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,546	7,122
現金及び現金同等物の期首残高	84,472	87,018
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	682
現金及び現金同等物の期末残高	87,018	94,824

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)及び当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

当社グループは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)		当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	
1株当たり純資産額	496円30銭	1株当たり純資産額	567円43銭
1株当たり当期純利益金額	11円79銭	1株当たり当期純利益金額	61円44銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	11円75銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	61円21銭

1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	2,709	13,533
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	2,709	13,533
普通株式の期中平均株式数(千株)	229,902	220,272
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	758	837
(うち新株予約権)	(758)	(837)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれな かった潜在株式の概要	—	—

(注) 普通株式の期中平均株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式を控除し算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。